

唐宋山水画研究

竹浪
遠

中央公論
美術出版

魏府牧藏董元畫天下第一

董其昌
鑒定



B 5 判変型 (188×245 mm) 上製函入
カラー口絵 16 頁 本文 472 頁

本体価 28,000 円 + 税

ISBN978-4-8055-0736-0 C3071

2015 年 1 月刊行

伝董源「寒林重汀図」(黒川古文化研究所蔵)

組見本 (40% 縮小)

数々の作品に込められた
絵画史的意義を読み解く
豊富な図版。

第一章 時代の背景

海国という、その存在と容がつかみにくく、問題について、できる限り明らかにすべく考察を行った。本巻では、海国の後の絵画史においてどのような道をたどり、どのような影響を与えたのかを考察し、検討したい。

四 海国の影響

出される状況も、唐代の海国の反映と理解できる。例えば海国文の中に砂洲状の島々を散在させる。麻布山水図は、龍坐兩島を散在させた図様で、その内部の小さな山脈を走らせた例と見られ、正倉院中倉の沈香木函(図12)の扉面にも同様の図様が見られる。水波を中島を散在させた図様で、その内部の小さな山脈を走らせた例と見られ、正倉院中倉の沈香木函(図12)の扉面にも同様の図様が見られる。水波を中島を散在させた図様で、その内部の小さな山脈を走らせた例と見られ、正倉院中倉の沈香木函(図12)の扉面にも同様の図様が見られる。



図1-20 (伝) 柳子像「遊春図巻」(北京故宫博物院)



図1-21 「麻島本函圖」(京都府京都市) (正倉院中倉)



図1-22 「金剛山山水図」(京都府京都市) (正倉院中倉)

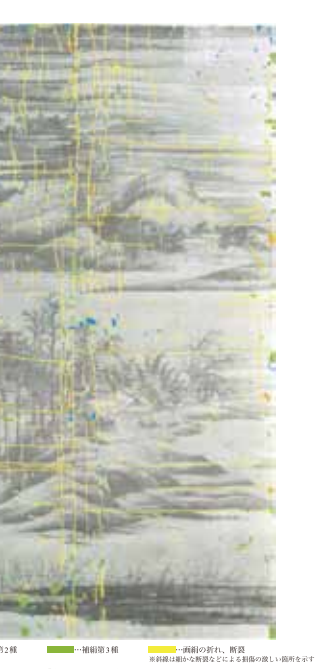


図1-23 「沈香木函圖」(正倉院中倉)

唐から宋にかけての山水
画の変遷を一覧するため、
代表的な現存作品をカ
ラー図版にて掲載。



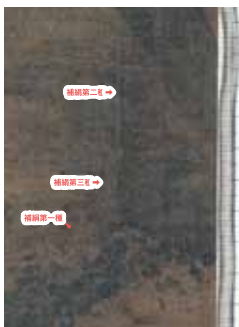
口絵19 郭熙「早春図」



口絵10 「寒林重汀図」保存状態図
●補綴第1種 ●補綴第2種 ●補綴第3種 ●一筆の折れ、断装
※補綴は紙中や糊痕などによる剥離の強い箇所を示す



口絵12 人物描写の紙跡(中景 左の水村) [原寸]



口絵11 使用されている補綴の種類 [原寸]



口絵13 中景 右の水村 降雪の表現

五代、江南山水画の重要
作例である(伝)董源「寒
林重汀図」については、
詳細な調査による細部図
版を多数掲載。

序 論

一 本書の対象範囲／二 先行研究の状況と本書の目的／三 本書の方法と各章の内容

第一章 唐代の海図——その主題内容と絵画史上の意義——

はじめに／一 李昭道と海図／二 唐詩にみえる海図／三 海図と唐代山水画／四 海図の影響／おわりに

第二章 唐代の樹石画について——松石図の意味と表現を中心に——

はじめに／一 唐代の主な樹石画家／二 唐代の詩文にみえる樹石画／三 現存作例からみた唐代の松の表現／おわりに

第三章 中唐の劉商について——詩人・樹石画家・道士としての生涯——

はじめに／一 現存する劉商詩のテキスト／二 劉商の官歴と詩作／三 画家としての活動／四 晩年の隠遁と道教信仰／おわりに

第四章 (伝) 董源「寒林重汀図」の観察と基礎的考察

はじめに／一 本図の概要および関連文献、伝来／二 作品観察と考察／三 「寒林重汀図」と江南の雪景図／おわりに

第五章 (伝) 李成「喬松平遠図」について——唐代樹石画との関係を中心に——

はじめに／一 「喬松平遠図」の概要と現状／二 唐代樹石画との関係／おわりに

第六章 北宋における李成の評価とその文人画家像形成について

——子孫・鑑賞者・李郭系画家との関わりから——

はじめに／一 李成の生きた時代／二 北宋前期の絵画状況と李寛／三 北宋中期の李成画流行と李宥／四 北宋後期以降の李成評価拡大と曾孫／おわりに

第七章 王詵「煙江暈嶂図」について——上海博物館所蔵・着色本、水墨本を中心に——

はじめに／一 「煙江暈嶂図」とその伝本／二 現存両巻の検討／三 元における「煙江暈嶂図」受容——銭選、趙孟頫——／おわりに

付論 題画詩からみた唐代山水画の主題

一 唐代山水画の主題考察における題画詩の意義／二 『全唐詩』にみえる山水画関係詩／三 神仙山水について／四 樹石画について／五 その他の山水画の主題

結 論

参考文献目録／初出一覧／中国語梗概

李昭道（八世紀前半）

父・李思訓（六五三〜七一八）とともに盛唐を代表する山水画家。当時おこった山水画の変革である「山水の変」の中心人物に挙げられ、後世には青緑山水の祖とされる。

畢宏（八世紀半ば〜後半）

『歴代名画記』において「樹木の歩を改め古を変ぜしは、宏より始まるなり」と言われるように、唐代に流行した樹石画の成立初期の大家と位置づけられる。

韋偃（八世紀後半）

山水、松石、人物、牛馬などを善くした。長安の出身ながら蜀に寓居し、杜甫の題画詩「戲為双松図歌」では、幹や枝が高々とめぐり、龍虎にも喩えられる圧倒的な画面が詠われている。

張璪（？〜七五七〜八九？）

『歴代名画記』において「樹石の状は張通（張璪）に窮まる」とされ、『唐朝名画録』でも神品に挙げられるように、唐代樹石画において最高の評価を受けた画家。

劉商（七三八前後〜八一三以前）

『全唐詩』などに百十数首を伝える詩人であるとともに、樹石画の代表的な画家の一人。晩年は道教に傾倒して山中へ隠れ、地仙になったとの伝説を生むなど多彩な経歴をもつ。

董源（十世紀前半）

五代・江南の大国、南唐の中主・李璟（在位九四三〜六）に仕えた。山水、牛、虎、龍、道釈人物などを善くし、山水画は江南の身近な水郷風景を題材として、水墨と着色の双方があつたとされる。江南山水画の祖として、後の文人画、南宗画に多大な影響を及ぼした。

李成（九一九〜六七）

青州益都（山東省）の出身で、故郷の黄土平原に基づく平遠を、精緻な水墨技法によって描き、北宋山水画の主流となる画風を打ち立てた。その影響を受けた画家は数多く、なかでも北宋後期の宮廷画家・郭熙が彼に師法したため、後世、李郭と並び称され、その画系は元代李郭派から明清にまで及んでいる。

郭熙（？〜一〇五四〜八七？）

北宋後期の山水画家。李成画風を学んで淡墨技法を受け継ぐとともに、范寛などの画法も取り入れ総合的な山水様式を打ち立てた。神宗（在位一〇六七〜八五）に召抱えられて、宮廷の障壁画を数多く手がけ、北宋後期を代表する画家となった。真筆の「早春図」（台北故宫博物院）が現存し、山水画制作の目的や方法を説いた『林泉高致』も伝わる。

王詵（？〜一〇六九〜九九？）

神宗の妹婿となった北宋後期の宗室画家。この時代に発展を遂げた水墨山水の主流をなす李成・郭熙系統の画家の一人として、また唐以前に盛んであつた青緑山水の宋代における復興者として重要な位置を占める。

中国史上における一大転換期であった唐(618~907)・宋(960~1279)時代の山水画を対象に、その描写に込められた多彩な意味と画風の変遷過程を解明する独創的研究成果。

著者略歴

竹浪 遠 (たけなみ はるか)

1972年、青森県むつ市に生まれる。東北大学文学部、同大学院文学研究科で美術史を専攻後、1998年より黒川古文化研究所に研究助手(学芸員)として勤務。2001年より研究員。2011年、東北大学大学院文学研究科博士課程後期三年の課程修了。博士(文学)。卒業論文以来、中国絵画史を研究。作品の表現に密着するとともに、その背後にある精神的な意味を追求した論考を、勤務館の紀要『古文化研究』を中心に発表している。美術コレクションの意義にも関心をもち、関西の博物館・美術館計9館の学芸員を中心に2010年に結成された関西中国書画コレクション研究会では、事務局長を担当している。

本書の特徴

- 高度な発展を遂げながらも現存作品に限りのある唐宋時代の山水画について、主題と表現の関係に注目することで、様式変遷や重要画家の制作の内実に迫る。
- 美術史のみならず文学・歴史・思想などの幅広い視点を交えて山水画を読み解く計七章。付論として『全唐詩』全900巻を通読し、山水画に関する資料を抽出した一覧表も収録。
- 細部の拡大を含む豊富な図版、題画詩などの多数の文献資料を紹介し、研究はもとより東洋美術愛好家の鑑賞の手引きともなる内容。
- 学術の国際交流と海外の中国絵画研究者にも資することを旨とし、巻末に詳細な参考文献一覧と中国語要旨を掲載。

関連書籍

臥遊 中国山水画—その世界

小川裕充 著

B4判上製函入 カラー口絵136頁 挿図1000点

本体価格 43,000円+税

南北朝時代から清代までの現存する中国山水画の輝かしい歴史を画する135点を精選。大判の高精細カラー図版に、著者三十余年の調査、研究の成果を盛り込んだ一点一点の作品に対する解説を附す。山水画の手法と原理を書き下ろし、壮大な世界へと誘う決定版画集。【國華賞受賞】

ISBN978-4-8055-0454-3

中国美術の図像と様式

曾布川寛 著

A4判上製函入(2分冊) 図版篇280頁 研究篇550頁

本体価格 40,000円+税

中国美術は難解であり、表面的な解釈は受け付けない。著者はこの中国美術の理解のため、美術史学と考古学、絵画と彫刻、宗教と非宗教といった既成のジャンルにこだわることなく、大きな視野をもって、図像学を援用し新資料を含む多数の図版により様式論を確立した。

ISBN978-4-8055-0522-9

中央公論美術出版

<http://www.chukobi.co.jp>

〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-7

電話 03-3561-5993 FAX 03-3561-5834

お取扱いは